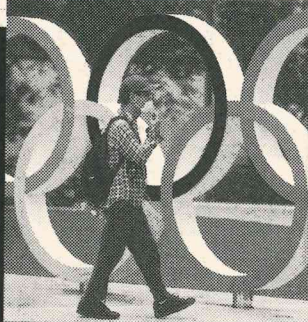


「いつまで続くのか」「岡田晴恵正しいか」「8割おじさんをど」「マスクは本当にするべきか」

の言っていることは  
う思うか」  
「誰が間違えたのか」……

8月に入って以降、全国で1日1000人以上のコロナ感染が常態化している



総力取材

# 医師100人アンケート



「8割おじさん」こと西浦博氏は第3、第4波到来を予言

なにを寄る辺にしたらいいのか。日を追うごとにコロナは異説紛々の様相を呈し、世の人々は茫然と漂うばかり。そんな折、トップ医師たちの明かす本音から、コロナの真実が見えてきた。

専門家会議も学者もマスコミも政治  
「いったい誰の言  
信用していい

家も信用できない今  
うことを  
ますか？」



連日会見を開く小池都知事とテレビ出演する岡田晴恵氏

患者を診ていて思うこと

「いまやコロナ禍は、混沌とした状況に陥っており、私自身も医師として何をすればいいのか、途方に暮れている。」

テレビをつければワイドショーでは認知顔の専門家たちが大袈裟に不安を煽って、観る人を恐怖に陥れている。本当に、観ているだけでウンザリだ。うちの病院でも、テレビを観て「昨日から頭がポーンとするんです。このままコロナで死ぬんでしょか」と駆け込んでくる人さえいる。すべての人が、誰の言っていることを信じればいいのか、わからなくなっているようだ」

東京の23区内で個人医院を営む60代の男性医師はこう回答する。夏に入って再び感染が

拡大し、新型コロナウイルスの累計感染者数は5万人を超した。だが、事ここに至っても、相変わらず「船頭多くして船山に上る」状態が続いている。たとえば8月7日。専門家による「新型コロナウイルス感染症対策分科会」が、感染状況を4段階（ゼロ散発・漸増・急増・爆発）に分ける新たな分類を発表した。そこでは、病床の逼迫具合やPCR検査の陽性率、療養者数など6つの指標でそれぞれの段階がクラス分けされている。

だが前出の60代医師に言わせれば、「各基準の数値がどんな根拠で設定されたのかわからない。なんのためにクラス分けしたのか、その意図もみえない。次々に新しい指標を出されても、結局は患者を混乱させるだけだ」という。

そもそも、このコロナ禍がいつまで続くのかという問題ひとつとつ

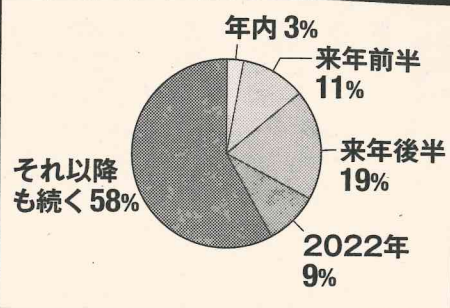
# 医師100人アンケート

総力取材

も、年内には収束すると断言する政治家もいれば、たとえワクチンができても流行は長引くと主張する学者もいる。はたして真実はどこにあるのか。本誌は全国の有力医師100人を対象に、対面・文書で新型コロナウイルスについてアンケートを実施した。その結果、過半数の医師が'22年以降もコロナは収束しないと捉えていた。

「そもそも、コロナウイルスの撲滅は困難では、と感じています。コロナは今後、季節性のインフ

## 日本の新型コロナウイルスの流行はいつ収束すると思うか



大半の医師が「コロナの流行は続く」と回答

ルエンザのように重症化する風邪として残るのではないのでしょうか。6月までの緊急事態宣言下では、政府が一律の自粛を要請したからこそ、都市でも1桁台と感染者数は激減しました。ですが、目の前の仕事や生活を不自然な形でストップする、そんな状態をいつまでも続けることはできないと感じています。うちの医院へ不調を訴

## 「コロナの女王」の評価

コロナは、他のウイルスと比べても感染力は弱い。欧州疾病予防管理センター(ECDC)によると、ひとりの感染者が何人にウイルスを伝染してしまうのかを測る感染力調査で、新型コロナウイルスは1〜4.5人という結果が出ている。これは一度感染すると2〜5人もの人にウイルスを伝染してしまうSARSに比べて、格段に低い数値だ。

えてくる患者さんにも、調子が悪いなら外出は控えてくださいと伝えていきます。ですが大半の方が「いやあ……仕事があるので、そればかりはできないんです」と複雑な表情を浮かべるんです。これが現実です。「新しい生活様式」が徹底されなければ、コロナの収束は難しいでしょう(クリニックフォアグラールの渥美義大医師)

「コロナは、基本的にマスクを取った状態で大声で歌ったり騒いだりする、か、「密」な家庭内からしか感染しないものなんです。とはいえ、人と人との接触をゼロにするなどできません。だからこそ流行が長引き、収束には時間がかかるでしょう(大阪府の大病院に勤務する60代男性の循環器内科医)

つければ、正体不明の「専門家」たちのオンパレード。そんな状況で、誰を信じればいいのか。「羽鳥慎一モーニングショー」(テレビ朝日系)でお馴染みの「コロナの女王」こと岡田晴恵氏は、多くの医師から批判の目が向けられている。アンケートでも、82%の医師が彼女を「評価できない」と断じている。

「彼女は元国立感染症研究所の研究員で、感染症の専門家という立場で番組に呼ばれています。ところが蓋を開けてみると、とても専門家と呼べないほど、あらゆる知識が欠落しています。最初彼女をテレビで観たとき、「なんだ、この適当なことばかり言っている人は」と驚きました。彼女はインパクトが強くてワイドショー向けの内容を発言することで、テレビ局の書いているシナリオに乗っかっているのです。岡田さんの発言

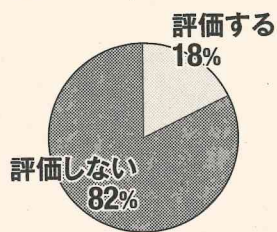
を鵜呑みにすると、コロナの実態を誤解してしまっています(神奈川県総合病院に勤務する50代男性の感染症内科医)

岡田氏はこれまでも「モーニングショー」で、「コロナは高温多湿と紫外線が大嫌いなんです」など、科学的根拠の乏しい説を唱えてきた。あなたも自分の意見が真実であるかのように語っているが、そもそも彼女は医師ではない。インフルエンザを専門にしていただけで、コロナに関しては「ズブの素人」なのだ。

「これまでの論文業績などの実績を考えると、なぜあれほどテレビ番組に出られているのか疑問を覚えます。岡田さんの発言は、医療の現場を知らないものばかりです。彼女は第1波のときにPCR検査の大規模な実施を声高に叫んでいましたが、当時は病院側の体制がまったく整っていませんでした。あのまま実

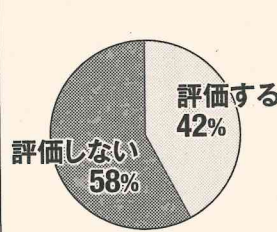
## この人たちをどう評価するか

### ① 岡田晴恵氏



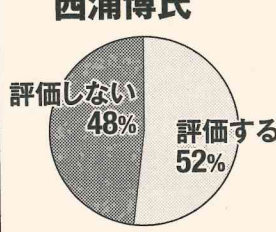
「専門家なのに具体的な話は一切せず、ただ不安を煽っている」(50代・男性医師)など厳しい意見が大半を占めた

### ② 小池都知事



派手なパフォーマンスを評価する声がある一方で、コロナを自分の政治的立場のために利用しているという批判も

### ③ 「8割おじさん」西浦博氏



3人の中で最も評価が賛御と割れたのが西浦氏。「同業者にも医師も喝破する

同じくコロナの恐怖を強く訴える立場でも、岡田氏と西浦氏の評価は分かれた

施されてしまったら、うちの病院も含めて医療従事者たちは立ち行かなくなっていたでしょう。さらに、彼女はコロナに対しての効果が実証されていない抗ウイルス薬

「アビガン」も、ほとんど国民に飲ませると発言していましたが、一体なにを根拠にそんな強気な発言ができるのか。本気でコロナを収束させようとしている人たちは、先の見えない中で戦っています。ギリギリの状況で、判断を間違え世間から批判を浴びることもあるでしょう。ですが、彼女はそんな必死に戦っている人たちの揚げ足をとり、無責任な発言を繰り返しているのです(ホームオン・クリニックつくばの平野国美医師)

## 都知事の素人芸

見が過半数を占める。「小池肯定派」の医師からは、「彼女は自分自身の存在がニュースになると冷静に判断した上で、効率的に情報発信をしている」(愛知県の大病院に勤務する50代医師)といった声も上がった。だが、その一方で、小池都知事の発言を「胡散臭い」と感じている医師のほうが多いようだ。「小池都知事は頻繁に会見を開き、熱心にコロナ問題に取り組んでいるように映ります。ですが発言が上滑りしていて、具体的にどの方向に都民を導くつもりなのか、哲学が見えてこないんです。

「グレーター東京(大東京圏)構想」や「東京アラート」などよくわからない横文字ばかりを並べて、聞く人を煙に巻いているだけです。彼女は東京都民のために動いているというよりも、「対政府」という構図を打ち出し、目立つために行動しているように見えます。それに東京オリンピック延期決定の前後や7月に行われた都知事選など、自分が置かれた状況や場面によって主張がコロコロと変わっている。本心がどこにあるのかわからないのです(東京・国立市、新田クリニックの新田國夫医師)

さらには、小池都知事お得意のパフォーマンスに疑問を呈する声もある。「彼女はいつも記者会見でフリップボードを掲げて登場しますが、あれはコロナの対応策そのものに自信がないからです。派手なデモンストレーションで、実体のない政策を誤魔化そうとしているのでしよう(東京・新宿、ナビタスククリニックの久住英二医師)

コロナの感染を予防するために、人との接触を8割減らすべきだ。そうしなければ、42万人もの日本人が命を落とすことになる——。そんな主張を繰り返してきた「8割おじさん」こと西浦博氏については、評価が真っ二つに分かれた。彼を評価する医師は52%、評価しない医師は48%と拮抗している。「賛成派」の意見に耳を傾けてみよう。

「小池都知事は突然、都市封鎖を言い出したかと思えば、今度は思いつきで経済活動の必要性を訴えた。そうかと思えば8

他の医師も、政策の一貫性のなさを指摘する。「小池都知事は突然、都市封鎖を言い出したかと思えば、今度は思いつきで経済活動の必要性を訴えた。そうかと思えば8

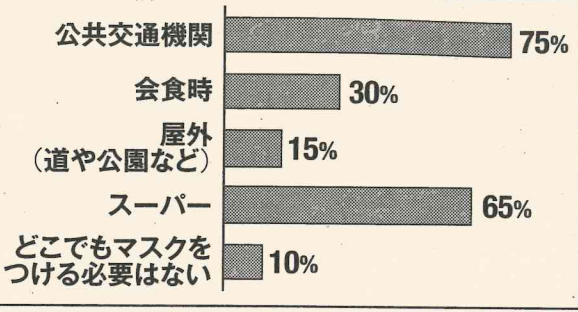
月末までの、都内飲食店の営業時間の短縮を要請しました。その場限りの足元の定まらない対応で、都民を混乱させています(順天堂大学医学部の奥村康特任教授)

総力取材 医師100人アンケート

人々に感染していくのか、数字に基づいて示してくれました。第1波の差し迫ったあの状況で西浦さんが警鐘を鳴らしたことで、相当数の感染防止に繋がりました。その事実については、評価すべきだと思います。

あの人は医者でも政治家でもなく、あくまで研究者です。自分の調査結果を装飾せずありのまま世間に伝えたという意味で、学者としての役割を

マスクをつけるべきだと思う場所やシチュエーションは何か？(複数回答可)



道を歩く時までマスクをつける必要はないとみる医師がほとんど

「西浦教授は数値にこだわるあまり、実際の日本人の生活スタイルや文化を見落としています。数字の面だけで、「人との接触を8割減らせ」と、現実的ではない主張を繰り返しているんです。緊急事態宣言が解除されてから通常の生活に戻った現在でも、都内でさえ「感染爆発」は起きていません。多くの人々がただ脅かされるだけ脅かされて、不安に晒されてしまったのです」(大阪大学教授で循環器専門の石蔵文信医師)

屋外でマスクは不要

さらにアンケートでは、医師が抱く政府への不信感も明らかになった。「率直に言って、医療現場の意見が反映されていないのです。医師会からの提案と政府の見解も、まったく違う。ちゃんとお互い意見交換をしているのかとさえ疑ってしま

「西浦教授は数値にこだわるあまり、実際の日本人の生活スタイルや文化を見落としています。数字の面だけで、「人との接触を8割減らせ」と、現実的ではない主張を繰り返しているんです。緊急事態宣言が解除されてから通常の生活に戻った現在でも、都内でさえ「感染爆発」は起きていません。多くの人々がただ脅かされるだけ脅かされて、不安に晒されてしまったのです」(大阪大学教授で循環器専門の石蔵文信医師)

欲しい」と要請してきたのに、現実にはコロナの疑いがある患者さんを目の前にしても、十分な検査ができないんです。わざわざ病院に来てくれた患者さんも私たち医師も、途方に暮れてしまいました」(京都・洛和会丸太町病院の上田剛士医師)

「はつきり言って、『密』な環境で大声を出してお喋りをしない限り、マスクをつける必要などまったくありません。そもそも、いくらマスクを着しても、コロナの侵入を防ぐことはできません。それにもかかわらずマスクだけで安心しているのは、爆撃機が空を飛んでいるのに防災頭巾だけで身を守ろうとしているのと同じです。手洗いうがいのほうがマスクの装着よりもよっぽど効果があります。たしかにマスクはつけているかいないか、ひと目見ればすぐに確認できます。一言で言えば、アピールの道具としてわかりやすいんです。ですが、その点だけに神経過敏になるのは、本末転倒としか言いようがありません」(前出・奥村特任教授)

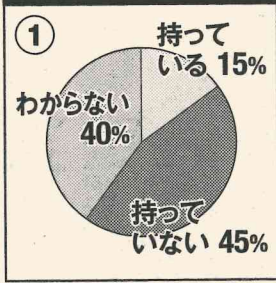
「率直に言って、医療現場の意見が反映されていないのです。医師会からの提案と政府の見解も、まったく違う。ちゃんとお互い意見交換をしているのかとさえ疑ってしま

「西浦教授は数値にこだわるあまり、実際の日本人の生活スタイルや文化を見落としています。数字の面だけで、「人との接触を8割減らせ」と、現実的ではない主張を繰り返しているんです。緊急事態宣言が解除されてから通常の生活に戻った現在でも、都内でさえ「感染爆発」は起きていません。多くの人々がただ脅かされるだけ脅かされて、不安に晒されてしまったのです」(大阪大学教授で循環器専門の石蔵文信医師)

「はつきり言って、『密』な環境で大声を出してお喋りをしない限り、マスクをつける必要などまったくありません。そもそも、いくらマスクを着しても、コロナの侵入を防ぐことはできません。それにもかかわらずマスクだけで安心しているのは、爆撃機が空を飛んでいるのに防災頭巾だけで身を守ろうとしているのと同じです。手洗いうがいのほうがマスクの装着よりもよっぽど効果があります。たしかにマスクはつけているかいないか、ひと目見ればすぐに確認できます。一言で言えば、アピールの道具としてわかりやすいんです。ですが、その点だけに神経過敏になるのは、本末転倒としか言いようがありません」(前出・奥村特任教授)

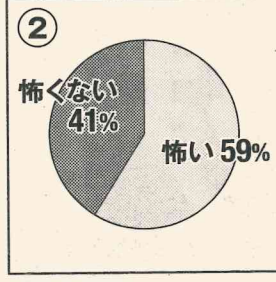
- ①「解明されていないが日本人の死亡率の低さを考えると可能性は十分ある」(60代・内科)
- ②「まだ年齢的に恐怖は感じないが、60歳以降は感染に注意したい」(50代・泌尿器科)
- ③「心情的には開催して欲しいが、たとえ来年でもあまりに危険すぎる」(40代・内科)

日本人は集団免疫を持っているのか



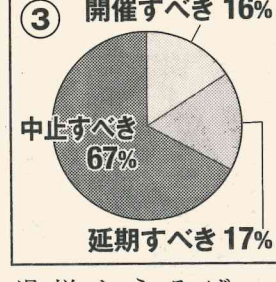
科歯科大学の藤田紘一郎氏は「視聽者を怖がらせるのが目的のワイドショーで聞きかじった知識だけを信じるのは、非常に危険」と指摘している。まるで相互監視社会のようになってしまったいまの状況は、度が過ぎていくようにも感じる。「『マスク警察』が蔓延るこの状況は異常です。間違った情報に踊らされて、コロナにかかったらすぐに死ぬという印象を植え付けられているからそうなるのです。私自身、何十年も患者さんと相對してインフルエンザの診察をしてきました。ですが、マスクの効果を実感したことなどありません。ウイルス粒

自分が新型コロナに感染するのは怖い



子の小ささと、呼吸するためのマスクの通気孔の大きさの違いを考えると、現実的にマスクに効果なんて期待できないんです。せいぜい、唾を過度に飛ばさないくらいのものでしょう」(熊本・松田医院の松田史彦医師)

来年、東京五輪を開催すべきか



「現実的に考えて、五輪の開催は極めて困難だと思います。いま、日本は一時的に『鎖国状態』になっています。ところがオリンピックで海外から大勢の人

医師が恐れつつあること

が入ってくれば、国内の状況が一変します。せっかく収束に近づいていても、変異したコロナが日本に侵入すると、今以上の混乱を来す恐れがあるのです。これから2〜3年は日本からの海外渡航はもちろん、外国人の受け入れも慎重に行わなければいけません。仮に開催を決定したと

しても、そのタイミングでまだ収束していない国や地域があるはずですし、その地域の参加を認めないとなると、それこそオリンピック精神の根幹にかかわります。総合的に考えて、東京五輪の開催は諦めるしかないのでは、と思います」(大阪・長尾クリニックの長尾和宏院長)

では最後に、医師の本音を訊ねてみたい。自分がコロナに感染するのが怖いについては、41%の医師が「怖くない」と回答した。「コロナ自体は、死亡率の低さを考慮しても、過

「もし自分がコロナに感染すると噂が地域に広まります。医師がコロナにかかってしまうと、その医療機関は2週間の診療停止だけでなく、最悪、倒産に追い込まれる可能性があります。医師にとっては、ある意味でウイルスも『差別する人間の心』のほうがつつと怖いんです」(前出・長尾院長)

特大号スペシャル 永久保存版



# あの可愛かった女優100人 どかんと27ページ

お宝女優編 烏丸せつこ 浅野ゆう子 河合奈保子 かとうれいこ 堀江しのぶ

魅惑のビキニ編 南野陽子 石川秀美 早見優 松本伊代 鈴木保奈美

マドンナ女優編 多岐川裕美 大原麗子 岡田奈々 風吹ジュン 長谷直美 山口いづみ 金沢碧

証言 '70年代、真夏のセックス 熱討 緒形拳と倍賞美津子

# 週刊現代

袋とじ 和田瞳 奇跡のフルヌード

8月22・29日 特別定価520円 Weekly Gendai 2020 August

昭和の怪物 根本陸夫

感動スクープ あれから150日 兄・知之さんの初告白

## 「弟・志村けんは、あれでよかったんだと思う」

**大特集** 今、いちばん危ないのは家の中

**「家庭内感染」はどうすれば防げるのか**

おかしな株高、あなたの投信はそのまま大丈夫か

ぶちぬき大特集

**65歳すぎたら、ひとりです生きる準備をする**

妻がいなくなった後を考えていますか／子どもも最後は「他人」になる／孤独と友だちになるために／なぜあの人はずまらなそうなのか

なぜあの方は楽しそうなのか／身体は衰えても、心は充たされていく

**医師100人アンケート**

「いつまで続くのか」「岡田晴恵の言っていることは正しいのか」「マスクは本当にすべきか」「誰が間違えたのか」

「いったい誰の言うことを信じていますか？」

誰でもすぐにPCR検査が受けられる全国病院リスト

1972年、なぜ日本人は天地真理に熱狂したのか

「銀行に残る」のはこんなに大変だった

銀行員が

60s 80年代ドラマの「マドンナ女優」50人

五十嵐淳子 山口いづみ 長谷直美

風吹ジュン 吉沢京子 紺野美沙子

岡田奈々

手塚理美

幻のグラビア